

丹波篠山市オーガニックビレッジ宣言



水と創る
農都ものがたり



丹波篠山



兵庫県丹波篠山市は、瀬戸内海と日本海に流れ込む3つの河川の源流をもち、300年の歴史のある黒大豆など、伝統的な農産物の生産地です。盆地にひろがる「まほろば」～里山からため池、水路、水田、川までのつながりが創り出した環境～は、先人たちが大切にまもってきた農都・丹波篠山の宝です。

本市では、ずっと地域の農業を支えてきた農家、市外から移住し就農を志すひと、大規模から小規模まで多様な農家が、農都ものがたりの主人公として、自然環境や生き物に配慮した農業を実践しています。

そのひとつが有機農業であり、これからさらに農法や技術などについての情報交換や連携を進め、多様な農家が広く「実践できるかたち」を確立していきます。

多様な農業があるからこそ、多くの消費者にさまざまな丹波篠山の農産物を届けることができます。持続可能な農業・農村を次世代に引き継ぐため、豊かな自然と伝統、そこに有機農業というワクワクする新たなチャレンジを加えた「水と創る農都ものがたり」に基づき、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和5年4月27日

丹波篠山市長

酒井隆明

